

## 令和7年度行政評価 施策評価シート (令和6年度実績)

## 施策名 歴史文化の保存活用

施策コード 5010103

1. 施策の担当	
主管課	教育部 文化財保護課
関係課	生涯学習課

2. 総合計画における位置づけ				
総合計画	政策	第1章 地域の強みを生かし、賑わいを創り出すまちづくり（活力・賑わい）	節	第1節 観光
	施策	歴史文化の保存活用		

基本方針	
地域の歴史・文化を伝える貴重な文化財を、すべての市民が親しみを持ち、誇りを持つことで、地域の活性化につながるよう保存と活用をめざします。	

現況と課題	
<ul style="list-style-type: none"> <li>3つの日本遺産や世界かんがい施設遺産をはじめとして、市内に保有する様々な文化財を地域の重要な歴史遺産として親しみ、活用するために観光資源化を推進することが求められています。</li> <li>史跡日根莊遺跡の周知看板及び整備にかかる計画を年次的に進め、所有者等と適切な史跡の保存と活用に向けて事業を実施していますが、整備に向けては民有地の管理問題が大きな問題となっています。</li> <li>史跡及び建造物の維持管理が必要です。</li> <li>文化財所有者・管理者の後継者不足の解消と技術継承が課題です。</li> <li>開発等による埋蔵文化財の調査、出土文化財等の適切な保存・活用に向けた行政・教育・地域住民との連携を強化するとともに、泉南地域自治体の文化財業務の広域連携化を行いました。</li> <li>文化的景観の選定地区は、現在、大木地区の日根莊大木の農村景観のみですが、土丸・日根野地区を将来追加する必要があります。</li> <li>博物館相当施設「歴史館いづみさの」の市内文化財の魅力発信拠点としての活用が必要です。</li> <li>佐野町場に点在する文化財の建造物と北前船主の歴史的まちなみの保存と活用が求められています。</li> <li>葛城二十八宿のひとつである犬鳴山七宝瀧寺とその周辺は、修驗道の道によって古来より河内・大和・紀伊と密接に結びつき、戦国時代には雨乞いの祈祷を託すなど地域の拠り所であり、今後も葛城修驗の靈場の保存と活用が求められています。</li> </ul>	

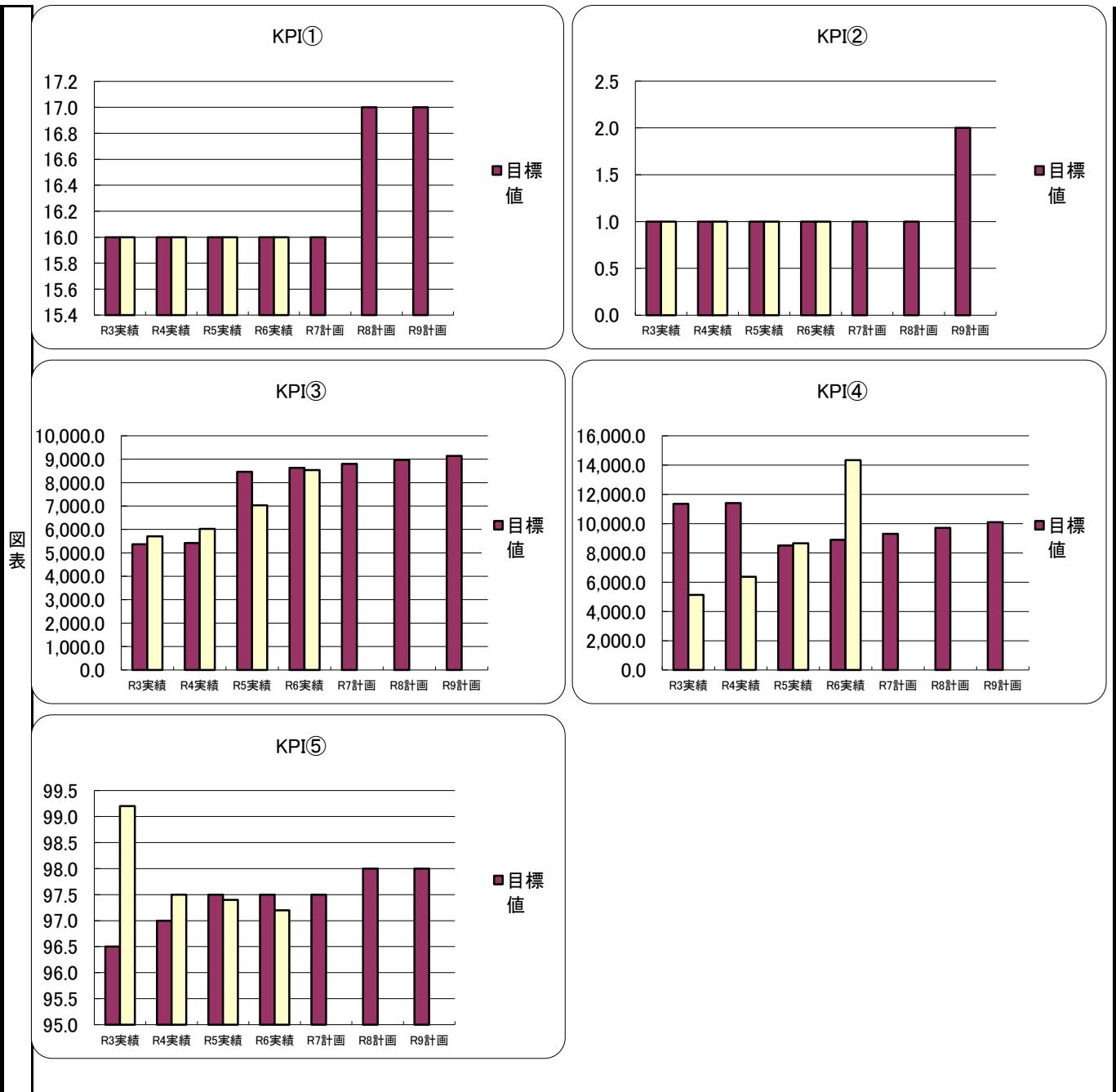
施策目標	
対象（誰を、何を、どこを）	
市民	
意図（どのような状態にしたいのか）	

市民が泉佐野市固有の歴史遺産を知ることで、郷土意識の向上を行う。また、地域の文化財を地域で守る体制や支援づくり、学校及び地域活性化につながる連携した施策づくり。

3. 市民ニーズ							
	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11
満足度（偏差値）	51.8	51.8					
重要度（偏差値）	43.1	43.1					

4. 施策にかかるコスト							
	単位	R5決算	R6決算				
コストの内訳	人件費	千円	48,277	67,816			
	事業費		72,746	64,523			
	フルコスト		121,023	132,339			
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0			
	府支出金		162	161			
	市債		0	0			
	その他		28,764	18,589			
	一般財源1（＝フルコストー特定財源）		92,097	113,589			
	一般財源2（＝直接事業費ー特定財源）		43,820	45,773			

5. 施策の重要業績成果指標(KPI)							
① KPI 1		史跡日根莊遺跡の総指定箇所数					
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	17.0	17.0
実績値	16.0	16.0	16.0	16.0			
達成度	100.0	100.0	100.0	100.0			
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
市内日根野・土丸・大木地区に広がる本史跡については、平成14年の保存管理計画に基づき、順次追加指定をすることで史跡の内容充実をはかり、将来豊かな地域づくり、人づくりに役立てられるよう適正な保存管理と活用をめざします。		保存管理計画書で策定した追加指定候補地の計画による。現在、史跡保存管理計画書の策定済み、単年度目標値を変更した。		16地点目の指定地として土丸・雨山城跡が追加指定された。			
② KPI 2		歴史的・文化的景観の保護活用にかかる計画地区数					
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	2.0
実績値	1.0	1.0	1.0	1.0			
達成度	100.0	100.0	100.0	100.0			
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
市内に所在する歴史的建造物や文化財とそれを取り巻く良好な自然環境等を総合的に保全活用するためには計画策定が必要となる。計画を策定することによって景観を積極的に保全する施策を推進することができる。		対象となる地区の持つ景観資源の確認、住民の意向を確認しながら計画策定をする必要があるため、現在策定済の大木地区の景観保護を進めながら、10年間でさらに土丸・日根野地区で1箇所の計画策定を目指すこととした。		大木地区的景観保護を進めている。			
③ KPI 3		旧新川家住宅・旧向井家住宅の入館者数（延べ数）					
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	5,370.0	5,420.0	8,464.0	8,634.0	8,804.0	8,974.0	9,144.0
実績値	5,706.0	6,022.0	7,031.0	8,537.0			
達成度	106.26	111.11	83.07	98.88			
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
泉佐野市指定文化財の旧新川家住宅・旧向井家住宅の公開と活用を推進する。		第5次泉佐野市総合計画の後期基本計画をベースに令和5年度の目標値を8464人とし、そこから毎年170人増を目指すこととした。		目標値には届かなかったものの、コロナが明けて以降、毎年着実に入館者数を増やしている。			
④ KPI 4		歴史館いずみさの年間利用者数（延べ数）					
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	11,350.0	11,400.0	8,500.0	8,900.0	9,300.0	9,700.0	10,100.0
実績値	5,132.0	6,368.0	8,658.0	14,342.0			
達成度	45.22	55.86	101.86	161.15			
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
歴史館いずみさの利用者数を把握することで、市民の歴史文化に関するニーズに対して情報発信ができるいるかどうかの指標となる。		平成27年度から指定管理者制度を導入し、平成27年度実績10,065人から年間50人の増加を目指したが、5次総計において目標値を見直し、令和5年度の目標値を8500人として、そこから年間400人の増加を目指した。		令和6年度は浮世絵展を実施した影響もあり入館者数が大幅に増加した。			
⑤ KPI 5		歴史館いずみさの利用者満足度					
項目	R3実績	R4実績	R5実績	R6実績	R7計画	R8計画	R9計画
目標値	96.5	97.0	97.5	97.5	97.5	98.0	98.0
実績値	99.2	97.5	97.4	97.2			
達成度	102.8	100.52	99.9	99.69			
KPI設定の根拠		KPI目標数値の設定根拠		目標達成・未達成の理由・背景			
市民の郷土の歴史及び文化に対する関心を高めるために行っている各種事業についてのアンケート調査により、利用者の満足度を把握することで、歴史館いずみさのより一層の活用を図る指標となるため		5次総計において目標値を見直し、令和5年度の目標値を97.5%とし、以降その水準を維持しつつ最終目標値を98%とした。		令和6年度は館内エレベーターの改修工事を行ったため展示期間の調整や、講演会・自主講座・展示解説の回数が例年より減少したため。			



6. 施策の事後評価				
一次評価 (担当課による評価)	判定項目	評価点	評価理由、今後の方向性等	
	施策の成果レベル (過去の推移、周辺市との比較なども含む)	(4点中) <b>4</b>	令和元年度に日本遺産に認定された、中世より継続した農村景観を持つ莊園遺跡として全国で初めての国史跡である日根莊遺跡は、全国的にも非常に貴重な中世莊園故地であるということを周知するために継続した成果が必要である。また、令和2年度には新たに2つの日本遺産（北前船寄港地・葛城修験）が認定された。地域の活性化をはかるため、それら関連する文化財を整備・活用し、効果的に発信していくことが求められている。	
	施策に対する市民ニーズ	(3点中) <b>2</b>	文化財の所有者や地域の住民に対して文化財保存の意識を高めるとともに、地域社会に活かされる文化財となるよう広報や普及行事などを通じて継続的な施策を展開する。	
	施策を取り巻く状況 (法令等の動向、国・府の政策の動向、社会潮流など)	(3点中) <b>1</b>	文化財保護法、府及び市文化財保護条例に基づく文化財の保存をベースとして、文化的景観や史跡をはじめとした地域の文化財を保存活用することで、地域の活性化につながる基礎づくりが必須である。日本遺産をはじめ、各地で文化的景観や史跡をはじめとする文化遺産を地域活性化や観光振興へ活かす取り組みも広がっていることから、日根莊や文化的景観などの果たす役割が大きくなっている。	
	合計点	(10点中) <b>7点</b>		
	総合評価	<b>B</b>	施策の満足度は標準程度である一方重要性が低いことから、必要以上の事業を行っていないか現状を見直す必要がある。	
	二次評価（政策推進課・行財政管理課による評価）	<b>B</b>	文化財所有者・管理者の後継者不足・技術継承が問題とされるなか、それを解消すべく具体的な対策を今後求められると想定されるので、先進的なアイデアだしに努められたい。	
三次評価（理事者による評価）				

7. 施策を構成する事務事業							
事務事業			R6年度決算額			R7年度予算	一次評価
	予算コード	事務事業名	人件費	事業費	一般財源		
1	01061100	史跡等保存事業	22,839	17,284	6,358	0	A
2	01061300	庁舎管理（文化財保護課分室）事業	5,847	7,639	7,033	0	B
3	01061400	文化財保存事業	9,188	5,942	330	0	B
4	01061700	文化財施設管理事業	8,353	3,443	3,282	0	B
5	01083248	歴史館管理運営事業	4,176	27,592	27,592	0	B
6		広域発掘共同処理事務事業	17,413	2,623	1,178	0	B
合計			67,816	64,523	45,773	0	



令和7年度行政評価 事務事業評価シート(令和6年度実績)

事務事業コード	020301010	事業コード	01061300	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B
事務事業名	厅舎管理（文化財保護課分室）事業	正規職員数	0.7	国庫支出金	0	有効性	C	引き続き佐野町場および泉佐野駅周辺の歴史・文化の普及施設の役割を果たしていく。	
担当課	文化財保護課	嘱託職員数	0	府支出金	0				
	市単独事業	臨時職員数	0	市債	0	効率性	C		
根拠法令等	■法律・政令・省令 文化財保護法	歳出(千円)	606	その他	606				
		人件費総額	5,847	一般財源	12,880	妥当性	A		
		減価償却費	0						
		事業費	7,639	受益者負担			A		
事務事業類型	施設管理事業	フルコスト(千円)	13,486	緊急性					
実施手法	その他	市民人当りコスト(円)	136						
対象	不特定	活動指標	R6実績	公的関与				事務事業実施内容 文化財保護課事務所（旧朝日湯）の保存管理および賃借業務 衣通姫ガイダンスセンターの保全および活用	
		委託契約事務等	1.0						
不特定の市民		物品購入及び支払事務等	1.0	実施主体・委託化					
		賃借業務事務等	4.0						
事業の内容	・文化財保護課事務所（旧朝日湯）の管理・賃借 ・文化財保護課駐車場の管理・賃借 ・衣通姫ガイダンスセンターの管理（衣通姫活用推進協議会に管理委託）	衣通姫ガイダンスセンターの開館日数	259.0	他の事務事業との関連					
		成果指標	R6実績	透明性					
事業の目的	・文化財行政事務の場として管理 ・国指定重要文化財である旧朝日湯の保存活用および市民への公開 ・衣通姫茅渟宮跡の普及の場として維持管理・公開	衣通姫ガイダンスセンターの入館者数	1,628.0	財政健全化計画					
		コスト指標	R6実績	財政健全化の取組					
		入館者1人あたりの経費	7,911.5	改革改善プラン達成度					
				該当なし					

事務事業コード	020301030	事業コード	01061400	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B
事務事業名	文化財保存事業	正規職員数	1.1	国庫支出金	0	有効性	A	市内に残る貴重な文化財を年次的に保護（指定）し、文化財所有者及び文化庁、大阪府教委及び文化財保護審議会等との指導調整により必要な保護措置を講じる。さらに保護された文化財を積極的に広く公開や活用を図ることに務める。	
担当課	文化財保護課	嘱託職員数	0	府支出金	0				
	法定受託以外の法令	臨時職員数	0	市債	0	効率性	A		
根拠法令等	■法律・政令・省令 ■条例・規則 文化財保護法・府、市文化財保護条例・附属機関条例	歳出(千円)	5,612	その他	5,612				
		人件費総額	9,188	一般財源	9,518	妥当性	A		
		減価償却費	0						
		事業費	5,942	受益者負担					
				該当なし					
事務事業類型	運営事業	フルコスト(千円)	15,130	緊急性				事務事業実施内容 文化財保護審議会の運営 指定文化財の保存 国指定文化財補助事業（維持管理事業） 泉佐野市文化財保存活用地域計画の策定	
実施手法	一部委託	市民人当りコスト(円)	152						
対象	特定の市民	活動指標	R6実績	公的関与					
		文化財保護審議会	0.0						
指定文化財所有者等		文化財調査・助成支援の指導・打合せ	8.0	実施主体・委託化					
事業の内容	文化財修復事業の調整・指導	2.0							
		審議会運営にかかる事務	0.0	他の事務事業との関連					
文化財保存事業として以下の業務を行っている。 ①市内にある文化財保存のための調査・指定業務 ②市文化財保護審議会運営業務 ③国・府・市指定文化財の所有者に対し、維持管理（一部）及び保存修理等への補助金交付業務		補助対象文化財指定件数	68.0						
事業の目的	市内に残る文化財の所在確認、内容調査を踏まえ文化財所有者及び文化財保護審議会との調整により必要に応じてその保護措置を講ずる。 さらに指定文化財の公開活用に関する普及事業を行い、広く文化財の保存への意識を高める。	成果指標	R6実績	透明性					
		文化財指定件数	68.0	財政健全化計画					
				財政健全化の取組					
		コスト指標	R6実績	改革改善プラン達成度					
		文化財指定1件にかかる経費	139,970.6	該当なし					

## 令和7年度行政評価 事務事業評価シート(令和6年度実績)

事務事業コード	020302070	監査コード	01061700	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B
事務事業名	文化財施設管理事業	正規職員数	1	国庫支出金	0	有効性	B	引き続き佐野町場および泉佐野駅周辺の歴史・文化の普及施設の役割を果たしていく。	
担当課	文化財保護課	嘱託職員数	0	府支出金	161				
		臨時職員数	0	市債	0	効率性	A		
		歳出(千円)	0	その他	0				
根拠法令等	■条例・規則	人件費総額	8,353	一般財源	11,635	妥当性	A		
	泉佐野市指定文化財旧新川家住宅条例			減価償却費	0				
	泉佐野市指定文化財旧新川家住宅条例施行規則			事業費	3,443	受益者負担	A		
	泉佐野市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例								
	泉佐野市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例施行規則								
	泉佐野市指定文化財旧新川家住宅の管理運営に関する協定書								
事務事業類型	施設管理事業	フルコスト(千円)	11,796	緊急性	C	事務事業実施内容			
実施手法	全部委託	市民人当りコスト(円)	119			旧新川家住宅の保全及び活用 旧向井家住宅の保全及び活用 奥家住宅の管理 大将軍湯の管理			
対象		活動指標	R6実績	公的関与	B				
不特定の市民	対象数	委託契約事務等	3.0						
		物品購入及び支払い事務等	3.0	実施主体・委託化	C				
事業の内容	①旧新川家住宅（木造2階建、内蔵、外蔵など、延べ床面積506.21m <sup>2</sup> 、修理復元価格336,274千円）の維持管理及び運営。平成18年度より指定管理者制度による運営管理へ移行。現在の指定管理者は、特定非営利活動法人泉州佐野にぎわい本舗で、指定期間は令和2年4月1日から令和7年3月31日まで。	旧新川家住宅・旧向井家住宅の開館日数	575.0	他の事務事業との関連	B				
	②泉佐野市指定文化財旧向井家住宅の公開管理（令和4年8月1日より泉佐野てらこやSANOTERIに管理委託）	旧新川家住宅・旧向井家住宅の入館者数	8,537.0	透明性	B				
	③重要文化財奥家住宅の管理（奥家保存会に管理委託）			財政健全化計画	該当なし				
	④登録文化財大将軍湯の管理（令和4年6月まで大将軍湯保存会に管理委託、現在は文化財保護課で管理）			財政健全化の取組	該当なし				
	コスト指標	R6実績	改革改善プラン達成度	該当なし					
	事業の目的	入館者1人あたりの経費(円)	1,362.9						
	①旧新川家住宅は歴史的建造物を活用した歴史・文化に関する興味関心に答えるとともに佐野町場の活性化の核となっている。								
	②旧向井家住宅はかやぶき民家住宅として公開活用の場となっている。								
	③奥家住宅は泉佐野市の重要な文化財であり、泉佐野市が管理団体として管理している。								
	④大将軍湯は保存活用計画策定に向けて、維持管理を行っている。								

事務事業コード	020302090	監査コード	01083248	従事人員(人)	投入コスト(千円)	評価	評価点	一次評価	B
事務事業名	歴史館管理運営事業	正規職員数	0.5	国庫支出金	0	有効性	B	引き続き歴史館の業務をより効率的、効果的に設置目的の達成、市民サービスの向上、管理経費の縮減を図る。	
担当課	文化財保護課	嘱託職員数	0	府支出金	0				
		臨時職員数	0	市債	0	効率性	B		
	■条例・規則	歳出(千円)	0	その他	0				
根拠法令等	・泉佐野市立歴史館いづみさの条例	人件費総額	4,176	一般財源	31,768	妥当性	A		
	・泉佐野市立歴史館いづみさの条例施行規則			減価償却費	0				
	・泉佐野市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例			事業費	27,592	受益者負担	B		
	・泉佐野市公の施設に係る指定管理者の指定手続等に関する条例施行規則								
事務事業類型	運営事業	フルコスト(千円)	31,768	緊急性	C	事務事業実施内容			
実施手法	全部委託	市民人当りコスト(円)	320			歴史館いづみさの管理運営			
対象		活動指標	R6実績	公的関与	C				
不特定の市民	対象数	歴史館いづみさとの協議回数	12.0						
		委託契約事務等	1.0	実施主体・委託化	C				
事業の内容	歴史館いづみさの管理運営。平成27年度より指定管理者制度による管理運営へ移行。			他の事務事業との関連	B				
	現在の指定管理者は、公益財団法人大阪府文化センターで、令和8年3月31日まで。								
	コスト指標	R6実績	透明性	B					
	歴史館いづみさの年間利用者数	14,342.0	財政健全化計画	該当なし					
			財政健全化の取組	該当なし					
	利用者1人あたりの経費	1,923.9	改革改善プラン達成度	C					
事業の目的	歴史館いづみさの運営は日根荘を中心とした中世荘園のテーマ館として運営し、泉州を中心とした歴史や文化についての資料類を収集しております。それらの資料類等を活用し、業務をより効率的、効果的に設置目的の達成、市民サービスの向上、管理経費の縮減を図る。								

令和7年度行政評価 事務事業評価シート(令和6年度実績)

一次評価					
埋蔵文化財発掘調査による出土品の整理及び保管を進め、その調査成果市民へ継続的に情報提供できるよう、展示品や教材資料などとして広く開・活用を図ることに努める。					
事務事業実施内容					
三市一町の遺跡内外における届出通知依頼の発掘調査の整理収蔵管理					
事務事業コード	020302100	子事業コード	1	従事人員(人)	投入コスト(千円)
事務事業名	広域発掘共同処理事務事業	正規職員数	0.3	0 有効性	B
担当課	文化財保護課	嘱託職員数	2.7	0	
市単独事業	臨時職員数	1.83	市債	0	
	歳出(千円)		その他	0 効率性	B
根拠法令等	■法律・政令・省令 ■要綱・要領	1,445			
	文化財保護法、市開発指導要綱	歳出(千円)	17,413	18,591 妥当性	B
		人件費総額		一般財源	
事務事業類型	施設管理事業			減価償却費	
実施手法	市直営			事業費	
対象					2,623 受益者負担
特定の市民	対象数	不特定			該当なし
開発事業者、市民、大学、研究機関等					
事業の内容					
文化財保護課分室（S造2階、延べ床面積592.15m <sup>2</sup> 、平成9年1月竣工、平成14年10月に大阪府から譲渡）と土丸収蔵庫施設の維持管理及び記録資料（図面や写真等）の適切な保管収蔵管理業務。文化財保護課事務所移転とそれに伴う事務的業務。					
令和4年度より泉州南埋蔵文化財行政広域事務所として三市一町（泉州佐野市・泉南市・阪南市・田尻町）の埋蔵文化財発掘調査届出・調査および整理業務。					
事業の目的					
埋蔵文化財発掘調査の成果を整理作業を効率的に実施し、一般を対象に普及公開していくために、平成21年度に収蔵管理システムを緊急雇用事業で導入した。今後も引き続き調査成果の整理継続とその普及啓発に努めることで、市の貴重な文化財出土品を広く活用してもらう。また、窓口GISシステムとも連携する。					